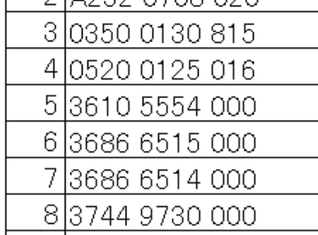
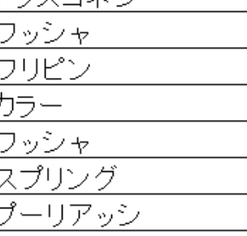
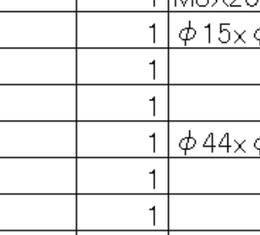
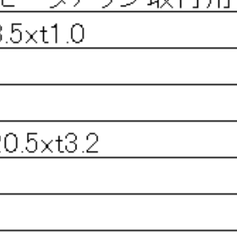
1.部品表

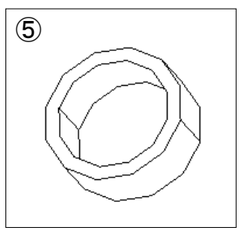
| No | 部品番号 | 部品名称 | 個数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 3744 9721 000 | モータアッシ | 1 | |
| 2 | A252 0708 020 | トラスコネジ | 1 | M8X20、モータアッシ取付用 |
| 3 | 0350 0130 815 | ワッシャ | 1 | φ15xφ8.5xt1.0 |
| 4 | 0520 0125 016 | ワリピン | 1 | |
| 5 | 3610 5554 000 | カラー | 1 | |
| 6 | 3686 6515 000 | ワッシャ | 1 | φ44xφ20.5xt3.2 |
| 7 | 3686 6514 000 | スプリング | 1 | |
| 8 | 3744 9730 000 | プーリアッシ | 1 | |
| 9 | 0350 0151 226 | ワッシャ | 1 | φ26xφ12.5xt2.3 |
| 10 | 3711 4343 000 | ギヤ | 1 | |
| 11 | 0350 0150 822 | ワッシャ | 1 | φ22xφ8.5xt2.3 |
| 12 | A360 0100 802 | スプリングワッシャ | 1 | |
| 13 | A301 0108 002 | ナット | 1 | M8 |
| 14 | 3744 9740 000 | センサアッシ | 1 | |
| 15 | 3744 9750 000 | ユニットアッシ | 1 | |
| 16 | H144 0106 016 | ボルト | 4 | M6X16、ユニットアッシ取付用 |
| 17 | 3699 0837 000 | ハーネスW | 1 | |
| 18 | 1048 3408 000 | クランプ | 1 | |
| 19 | 0051 1032 070 | ワイヤバンド | 5 | ハーネスW固定用 |
| 20 | 0050 2108 063 | クランプ | 1 | ハーネスW固定用。長さ80、M6用 |
| 21 | F300 0106 000 | ナット | 1 | M6 |
| 22 | 0050 2110 083 | クランプ | 1 | ハーネスW固定用。長さ100、M8用 |
| 23 | 3686 0934 000 | スイッチアッシ | 1 | 選別風ダイヤルスイッチ |
| 24 | 3744 9761 000 | 取付要領書 | 1 | 本紙 |

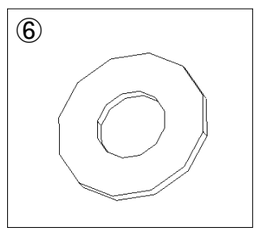


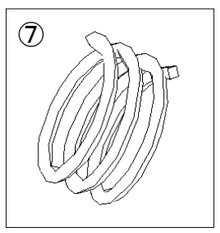



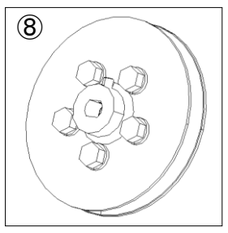



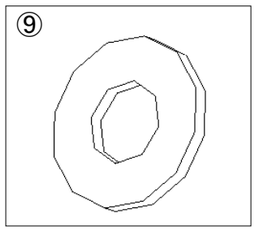



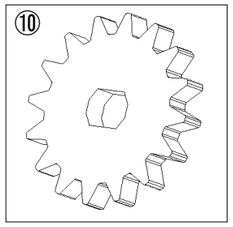



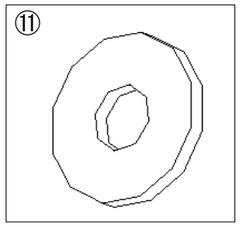



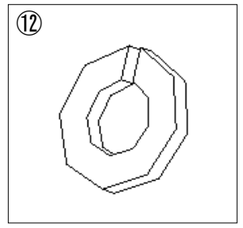



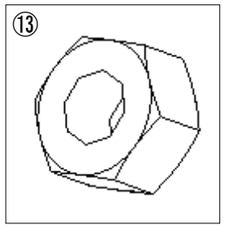



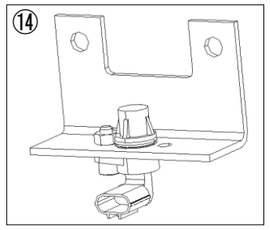



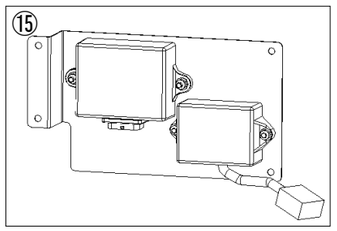



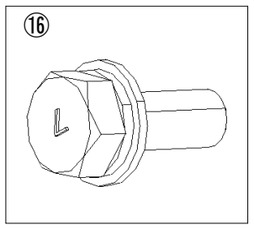



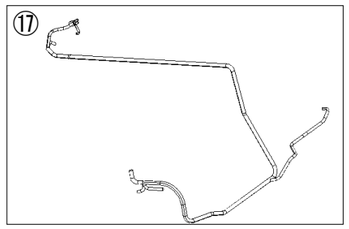



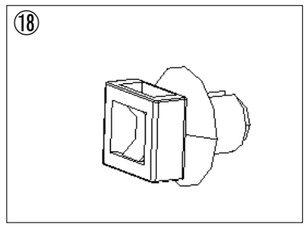



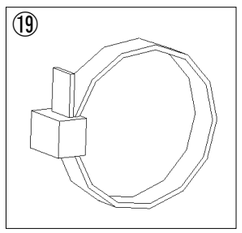



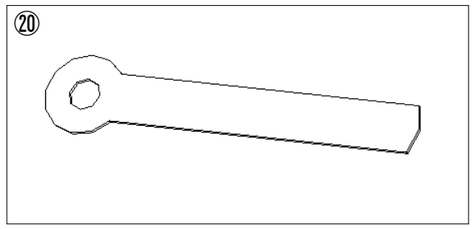



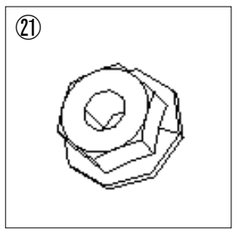



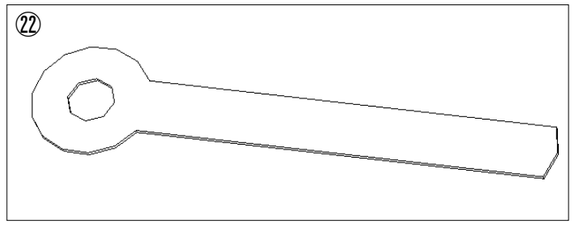



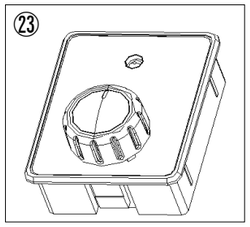



2.作業手順

取り外した部品は、あとで使用することもありますので、保管しておいていください。

1.グレンタンクを開き、脱こくサイドカバー(上下)を取り外します。(取扱説明書による)

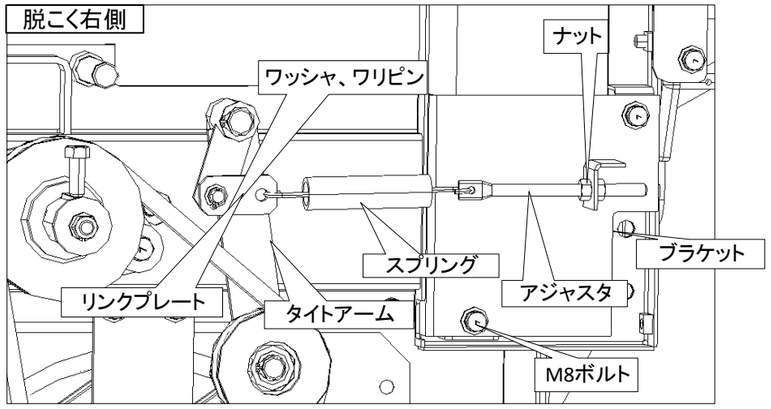
2.下図の要領で、ブラケットを取り外します。

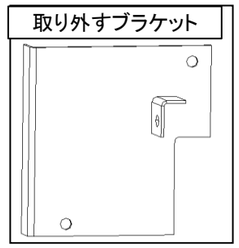
(理解のために、周辺部品を消してあります)

1)ナットを外し、アジャスタ、スプリングを取り外す

2)ワッシャ、ワリピンを外し、タイトアームからリンクプレートを取り外す

3)M8ボルト2ヶを取り外し、ブラケットを取り外す




3.下図の要領で、プーリを交換します。

1)M8止ボルト、M10ナット、スプリングワッシャ、ワッシャを外し、プーリを取り外す□

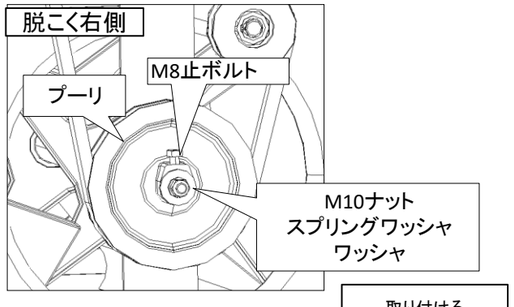
2)プーリを取り外した後、⑤カラー⑥ワッシャ⑦スプリング⑧プーリアッシを組み付ける

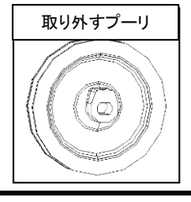
⑧プーリアッシ組付け時、はめあい部へリチウムグリス塗布、充填すること

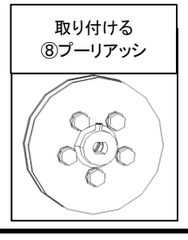
3)1)で外した、M10ナット、スプリングワッシャ、ワッシャを組み付ける

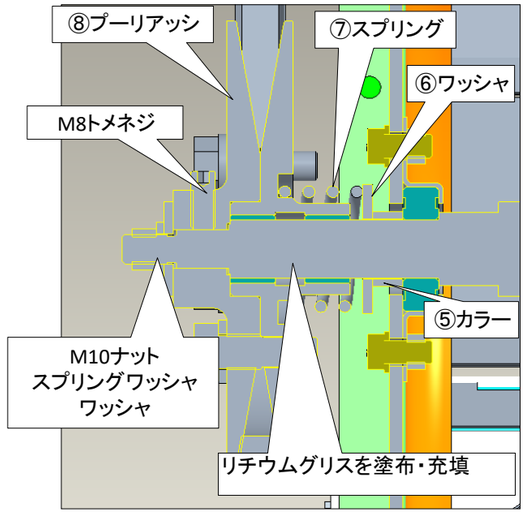
4)⑧プーリアッシ内のトメネジを締め付ける

締付けトルク24.5～29.4N・m(250～300kgf・cm)□



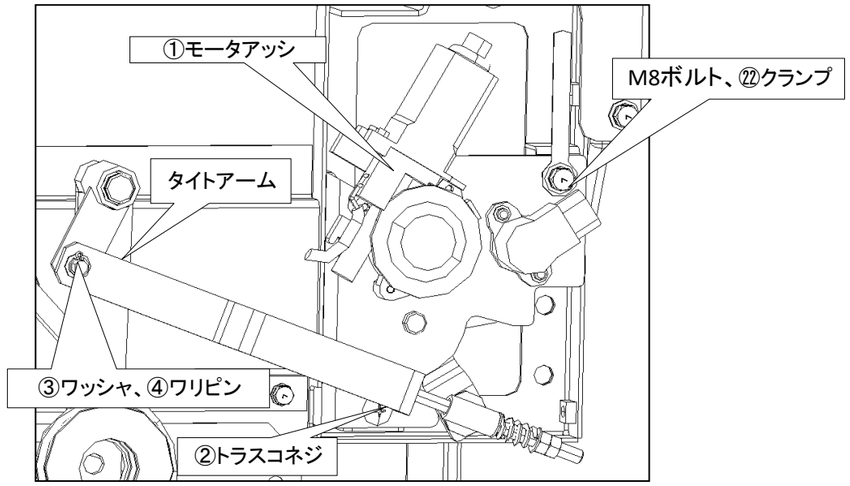




4.下図の要領で、モータアッシを取り付けます。

1)手順2.で取り外したM8ボルト1ヶと②トラスコネジで、①モータアッシを組み付ける

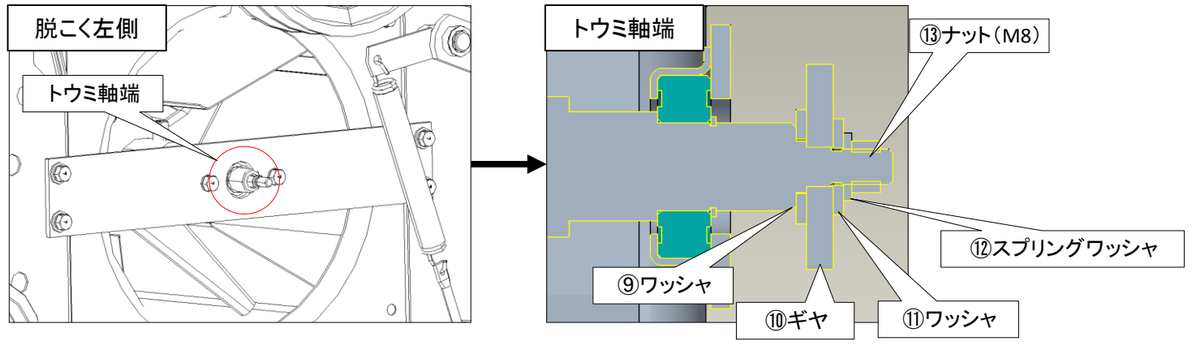
M8ボルト部は㉒クランプを共締めすること

2)①モータアッシとタイトアームを、③ワッシャ、④ワリピンで組み付ける



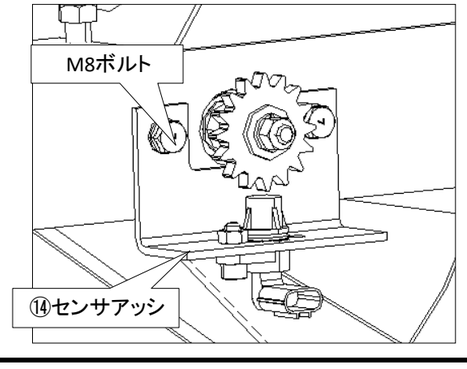

5.下図の要領で、回転センサ関係部品を取り付けます。

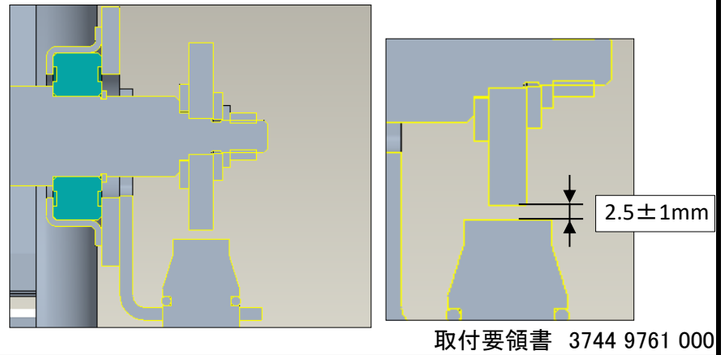
1)脱穀左側トウミ軸端へ、⑨ワッシャ・⑩ギヤ・⑪ワッシャ・⑫スプリングワッシャ・⑬ナットを組み付ける




2)既存のM8ボルトで、⑭センサアッシを取り付ける(1本ずつ着脱するとよい)

⑩ギヤの歯先とセンサの隙間を2.5±1mmとなるよう調整する

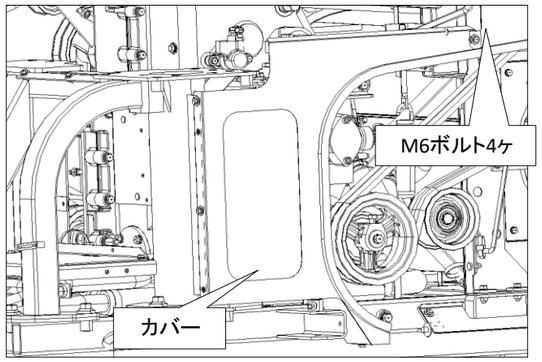


2.作業手順

6.バッテリを取り外します。(取扱説明書による)

7.カバーを外します。(M6ボルト4ヶ)

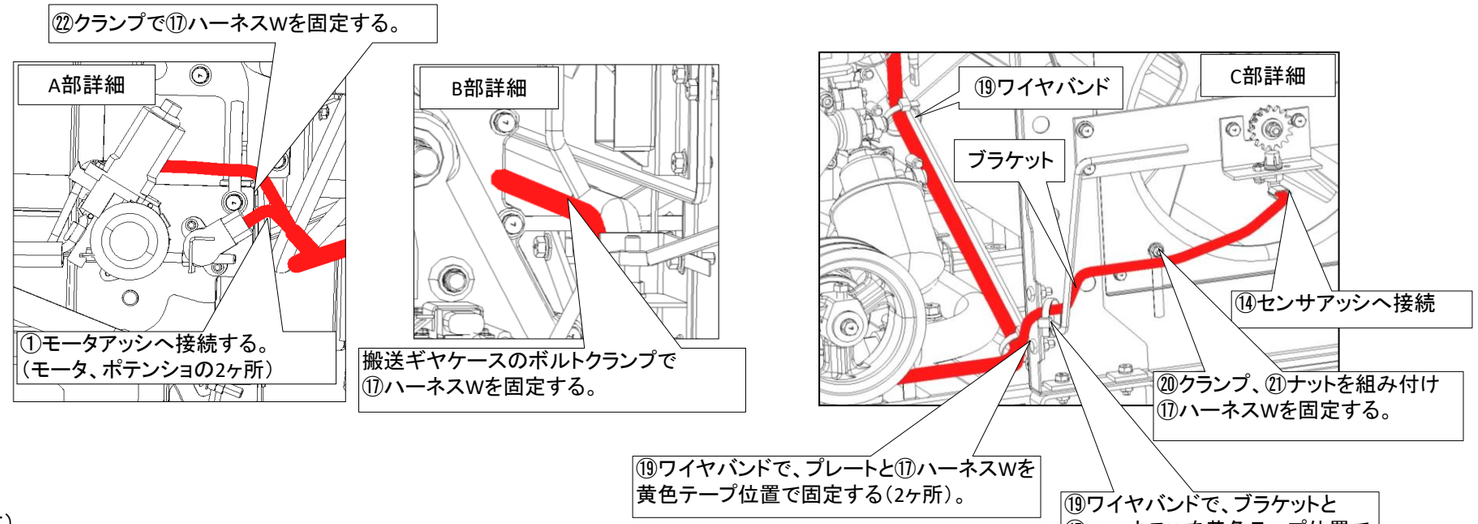



8.右図の要領で、⑰ハーネスWを取り付けます。(理解のために、周辺部品は消してあります)

＊ハーネスの配策について

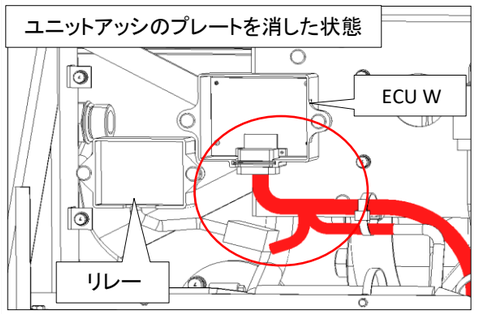
過度に引っ張ったり、緩ませたりして、固定しないこと。

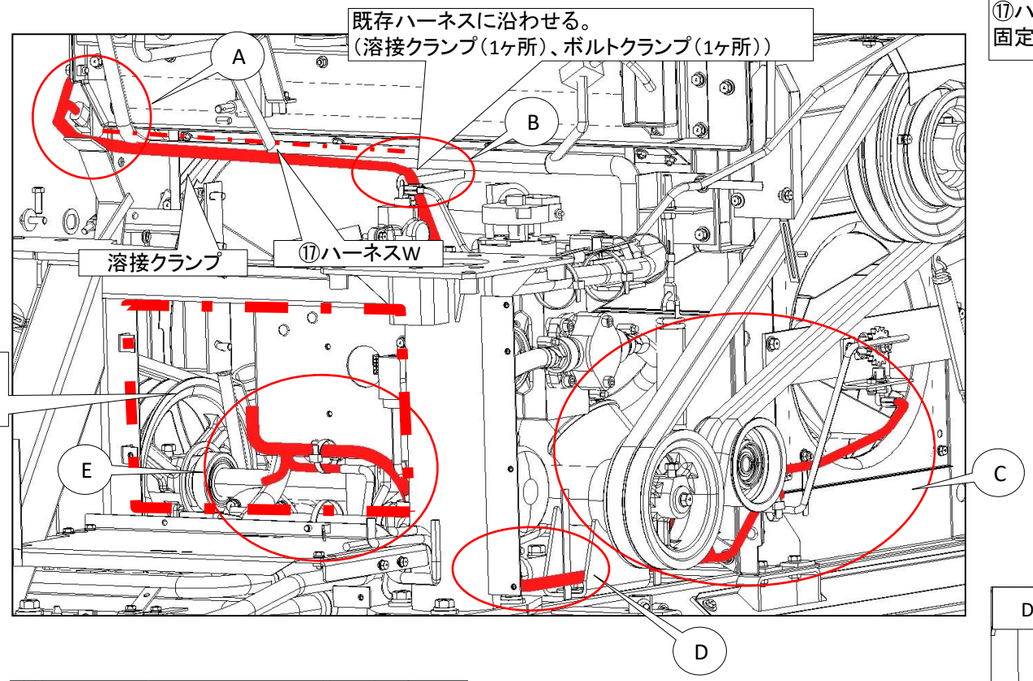
また、回転物、摺動物、鋭利な角部との接触がないことを確認すること。



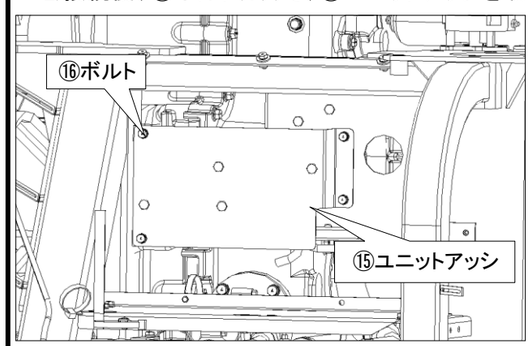

9.下図の要領で、⑮ユニットアッシを取り付けます。

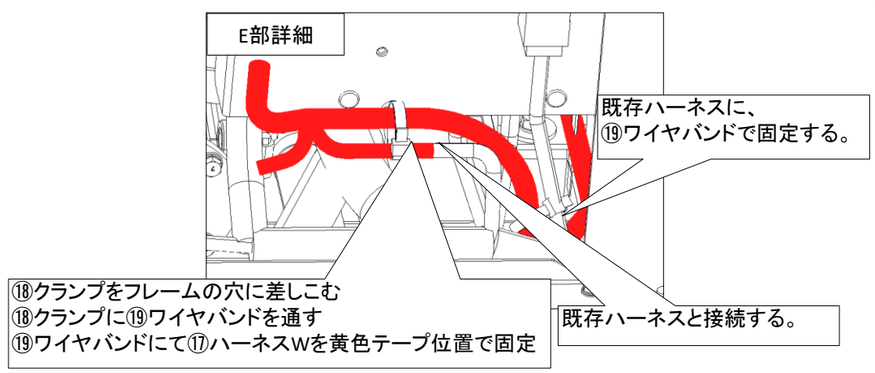
1)取付前に⑮ユニットアッシのリレー、ECU Wと⑰ハーネスWを接続する

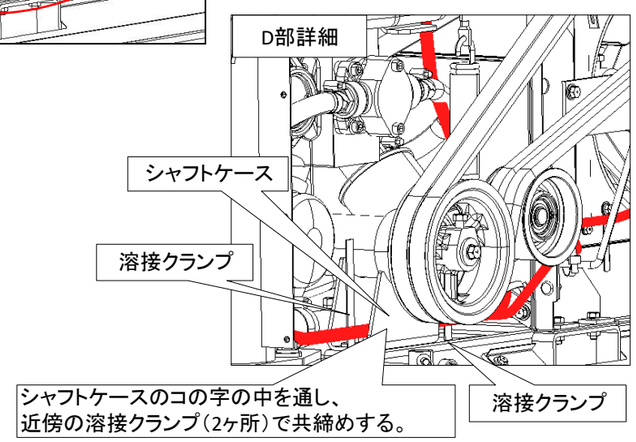



2)接続後、⑯ボルト(4ヶ)で、⑮ユニットアッシを取り付ける



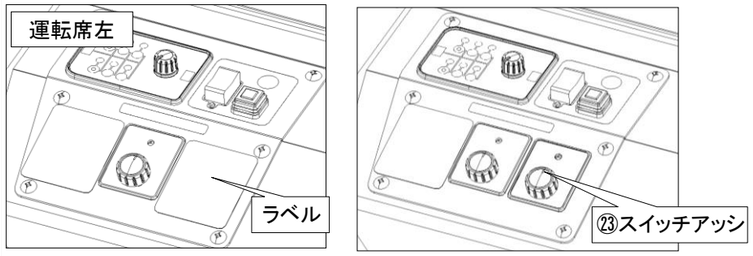

10.取り外したカバー類、バッテリを取り付けます。(取扱説明書による)

## 2.作業手順

9.下図の要領で、スイッチアッシを取り付けます。

1)運転席左操作パネルの前方のラベルをはがす□

2)ラベルを剥いだ穴から㉓スイッチアッシとの接続カプラを引き出し接続し、㉓スイッチアッシを取り付ける



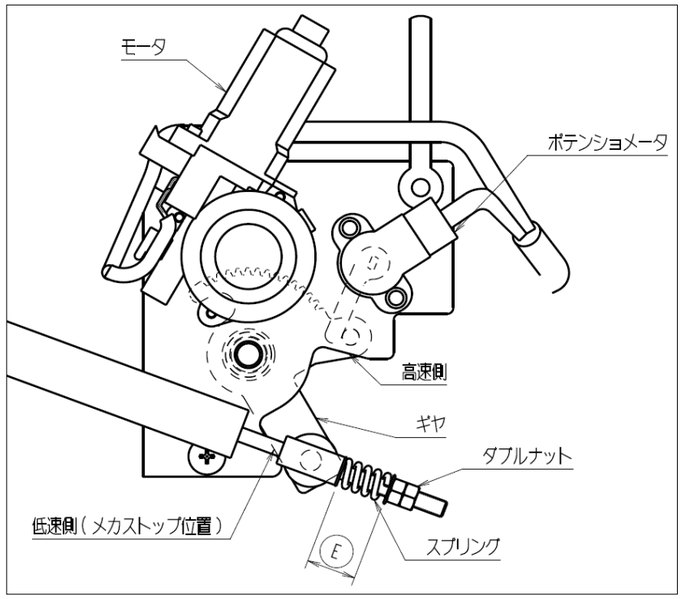

10.変速部調整

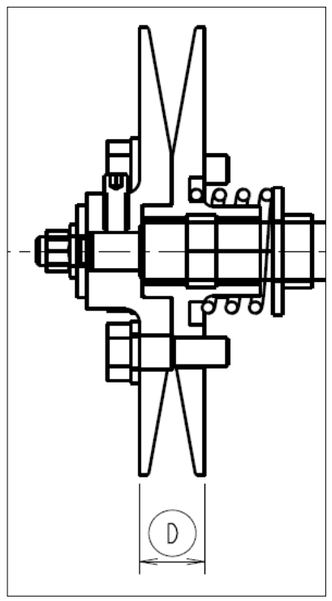
下記手順で、変速部の初期調整を行ってください。

1)①モータアッシ内にあるポテンショメータの低速側・高速側リミット点をメモリバックアップすること。
（トウミポテンショバックアップ方法参照）

2)㉓スイッチアッシのダイヤルが、自動OFFかつ最低速位置で脱こくを10秒程度空回しし、
ギヤが低速側にある（メカストップから2～3mm程度離れている）ことを確認すること。

3)⑧プーリアッシの外幅Ⓓが23±1mmの状態で、スプリングを$24^{0}_{-1}$mm（Ⓔ）にセットし、ダブルナットでロックすること。




11.作動確認

脱こくを空回しした状態で、㉓スイッチアッシのダイヤルを回し、モータが作動することを確認してください。

12.グレンタンクを閉め、サイドカバーを取り付けてください。

以上で作業は終了です。

<トウミポテンショメモリバックアップ方法>

メニュー［1］　選択［06］

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 8 | トウミポテンショ上下限リミット位置 | | | | ・マイコン交換時、ポテンショ交換時、トウミ変速部品分解時に行います。<br>・リミット点を記憶して駆動する範囲を決定します。 |
| | モード | A | コード | 1060 | |

＜手順 A＞

1. メモリバックアップを起動します。（エンジンを始動します）
パワークラッチを《脱こく》にします。（トウミ変速作動条件）
2. 上記コードを選択し、決定スイッチを押します。 1 0 6 0 点灯 →書き込み準備状態
◎コードの点滅表示が点灯表示に変わります。
4. もう一度決定スイッチを押します。
トウミポテンショが自動セットアップを開始します。
自動的にトウミ回転の＜増速側＞＜減速側＞のリミット点まで動きます。
各リミット点でホーンが鳴ります。
ブザー断続音が２回鳴り、１０６０表示が１０６１に変わります。 1 0 6 1 点灯 →書き込み完了
１０６０点滅表示に戻ります。（バックアップ終了） 1 0 6 0 点滅
5. スタータスイッチ切で終了します。

以下は詳細手順

トウミポテンショ
メモリバックアップ

↓

バックアップモード
スタータスイッチ《OFF》状態で
1)決定スイッチ　《ON》
2)選択スイッチ　《下げ》
にし、エンジンを始動する(ローアイドルでOK)。

↓

ブザーが2回鳴る

↓

パワークラッチ《脱こく》とする。
(唐箕変速作動条件として必要)

↓

メニュースイッチで メニュー"1"を選択表示させる。
選択スイッチで選択表示を"06"表示させる。
決定スイッチで選択する。

↓

決定スイッチを押すと、
トウミポテンショ自動セットアップ開始

----自動セットアップ動作----
1) 増速出力しリミット位置の選別風
ポテンショ値を記憶
→ ホーン単音
2) 減速出力しリミット位置の選別風
ポテンショ値を記憶
→ ホーン単音

↓

ブザー断続音が2回吹鳴
(ピピピ・ピピピ)
書き込みOK表示[1]

↓

スタータスイッチ《OFF》

↓

完了

